

経済指標ウォッチャー

ユーロ圏GDP成長率 3四半期ぶりのプラス成長に

景気回復は続くとみられるが、夏休みの感染者数増加には注意

GDP（国内総生産）とは？

Gross Domestic Productの略で、国内において一定期間内に新たに生産されたモノやサービスなどの合計金額。その国の経済力の目安に用いられる。

前年同期や前期と比べ、どのくらい増加（減少）したのかを見ることで、国内の経済成長を推定することが可能となる。GDPの増減率を%で表したものを『GDP成長率』と呼ぶ。

ユーロ圏GDP成長率は3四半期ぶりにプラス

欧州連合統計局が7月30日に発表した、2021年4-6月期の実質GDP（域内総生産）成長率（速報値）は前期比2.0%増と、事前予想の同1.5%増を上回り、3四半期ぶりのプラス成長となりました（図表1）。

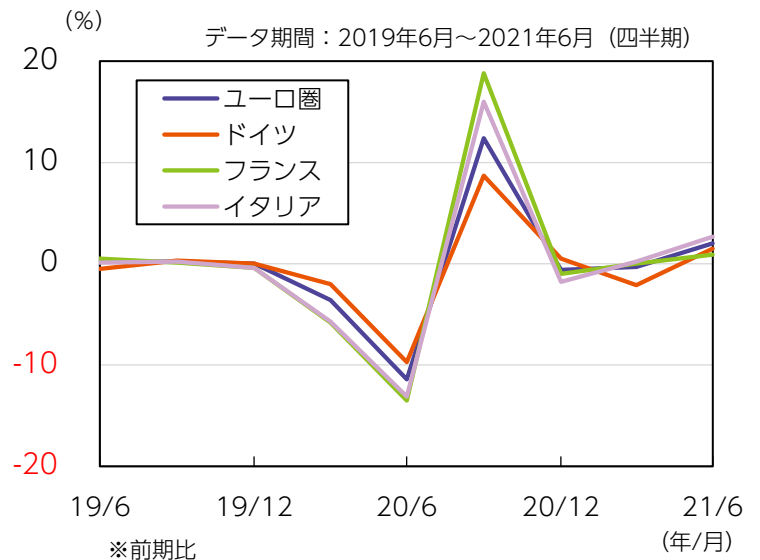
足元の実質GDP（金額ベース）は新型コロナウイルス感染拡大前の2019年10-12月期の97%の水準となっており、感染拡大前の水準を回復した米国と比べてやや出遅れ感があります。一方で、年率換算した4-6月期のGDP成長率は前期比8.3%増と、米国の同6.5%増を上回っています。新型コロナウイルスワクチンの接種進展により経済活動の正常化が進みつつあることなどを背景に、サービス業を中心に景気回復が進んだことが影響したものとみられます。

景気回復は続くとみられるが感染状況に注意

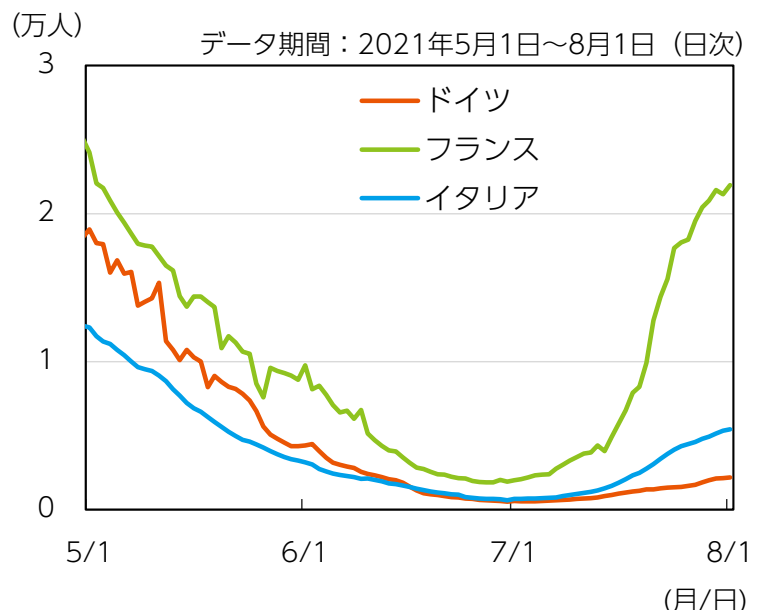
足元では、デルタ株の影響等もあり新規感染者数はやや増加しつつありますが（図表2）、ワクチン接種が進展していることなどもあり、ロックダウン（都市封鎖）等の厳しい措置が再び強化される可能性は低いとみられます。欧州委員会が7月7日に公表した経済見通しでは、ワクチンの接種加速により感染状況が改善し、経済活動の正常化が順調に進んでいることから、2021年のGDP成長率は前回（春）の4.3%から4.8%に上方修正されました。その結果、実質GDPは前回（春）の予測よりも1四半期早い2021年10-12月期にはコロナ禍前（2019年10-12月期）の水準を回復するとの見通しに修正されました。

順調な景気回復が予想されていますが、夏休みシーズンには国境を越えて人が移動する欧州では、人の移動に伴う感染再拡大のリスクも指摘されています。今後の感染の状況次第では景気回復が停滞するリスクもありそうです。

図表1：ユーロ圏各国の実質GDP成長率の推移



図表2：ユーロ圏各国の新規感染者数の推移



※ 欧州主要国の新型コロナウイルス新規感染者数（7日移動平均）の推移
出所）図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>